

令和4年度学校評価【学校関係者】

学校評議員の皆さんによる学校評価

4：よくできている 3：できている 2：あまりできていない 1：できていない

	評価項目	R4評価	R3
1	学校ホームページの更新を随時行い、学年通信や行事の案内等とあわせて適切に家庭や地域に情報を提供している。	3.0	3.3
2	オープンハイスクールや中学校訪問等を通して、地域に新しい取組について広報している。	3.0	3.0
3	進路講演会や進路別説明会、インターンシップ等を実施し、望ましい勤労観や職業観を育成している。	3.2	3.5
4	交通指導や校舎内外の安全点検、いじめアンケート、避難訓練等を適切に実施し、安心・安全な学校生活の維持に努めている。	3.2	3.5
5	地域と連携した事業を実施したり行事等に積極的に参加を促したりすることで、熱意と誇りを持ってふるさとで生きる自覚を促している。	3.2	3.3
6	生徒会活動や部活動及び「総合的な学習（探究）の時間」の在り方を工夫し、生徒の多様な個性や能力の開発に努めている。	3.2	3.5
7	授業を少人数や習熟度別に実施したり、主体的で対話的な深い学び等の視点から授業改善をはかり、確かな学力の定着を図っている。	3.5	3.5
8	生徒ひとりひとりへの丁寧な声かけを通して、挨拶・礼儀・服装・言葉遣い・マナー等について意識を高める指導を行っている。	3.0	3.0
9	個人面談やキャンパスカウンセリング等を適切に実施し、生徒の内面理解に努めている。	3.4	3.3
10	職員と生徒との間で適切なコミュニケーションがとられ、相互の信頼関係ができている。	3.2	3.0
11	家庭への諸連絡の方法（配布物、電話等）は適切で、保護者との連携が十分に図られている。	3.2	3.3
12	伊和高祭や体育大会等の学校行事の内容は適切で、生徒が意欲的に取り組んでいる。	3.2	3.5
13	伊和高祭・体育大会・「総合的な学習（探究）の時間発表会」等の行事に、保護者や地域の方が参加しやすいよう工夫している。	3.0	3.0
14	キャリア教育類型を整備することで、地域と一体化した生徒の育成が可能になるよう工夫している。	3.5	3.8
15	生徒をネット依存から脱却させることを目指し、スマホルールの改訂に加え睡眠リズム調査や講演会等を実施し、一定の効果をあげている。	3.2	3.0
16	生徒ひとりひとりの今と未来を大切にした教育活動を行っており、信頼できる。	3.5	3.5
17	いじめ防止対策推進法について職員が理解を深めている。	3.0	3.0
18	いじめ対応について、組織的に対応できる体制ができおり、組織的に対応している。	3.4	3.0